

事務事業名 ふるさとハローワーク事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1630

施策：	04	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	財務コード	--
基本事業：	05	就労の促進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	新規の市内求人数 ふるさとハローワークにおける就職率		担当課	商工観光課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民及び近隣住民の求職者			ふるさとハローワークを設置・開所し、就職希望者の就労支援を行なう。建物、消耗品、電気、ガス、上下水道、警備、ゴミ収集費、足拭きマットの費用を市で負担している。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
本事業の実施により、就職希望者を支援するとともに、市の雇用事業の活性化と労働力の確保に資する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
就職した者の数		人	1,040	1,053	1,000	1,000			
5. コスト									
事業費		計	千円	1,194	968	0			
		国	千円	0	0	0			
		県	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
一般		千円	1,194	968	0				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,994	1,777	807				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		就職件数は、H28、1,095件、H29、1,040件、H30、1,053件で、そのうち約6割が筑紫野市内在住者である。本事業は地域に密着した行政サービスとして、職業相談、職業照会、雇用に関する情報発信等を行っている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	あり						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
備考・特記事項 or 進行管理欄									
・平成24年3月1日開所、市内及び近隣住民の就職の促進とハローワークの利便性向上につながる。平成31年1月から新庁舎横に併設となり、市民の利便性が向上した									